

議会だより

3月の
定例会

② ふるさと再生・移住、企業誘致促進
約255億円超の予算可決

⑬ 定数4減
議員定数14名から10名に

⑦ スバリ！町政を問う
2議員が質問

⑰ 特定復興再生拠点区域
先行解除の範囲を協議

Vol.
198
2019.4.19

TOMIOKA GIKAI DAYORI

発行：福島県富岡町議会 住所：〒979-1192 富岡町大字本岡字玉塚 622-1
TEL.0120-33-6466 FAX.0240-22-0899

桜咲き誇り、舞い踊る／桜まつり2019(富岡第二中学校前)

平成31年度
当初予算

ふるさと再生・移住、

企業誘致促進

予算可決

《一般会計 199億円

特別会計 56億円 総予算255億円超》

《産業団地造成工事に着手》

○【工業団地事業費】(商工費).....24億8782万円



- Q 現時点で産業団地に関心を持っている企業は。(早川恒久)
- A 産業振興課 四倉工業団地内の町内事業者8社、その他、町外事業者12社程度が関心をお持ちだと感じています。
- Q 進出する企業の調査をしっかりと行ってほしいが。(早川恒久)
- A 産業振興課 募集を受け付ける段階で、事業計画等をしっかりと吟味し、誘致の審査を進めたいと考えています。

《移住型町営住宅を提供》

○【住宅借上料】(土木費).....2016万円



- Q 建物の現況確認は。(遠藤一善)
- A 総務課 貸主がリフォームを実施しますが、町でも契約までの間に現地確認や書類上不備がないかなどの確認を行います。
- Q 移住・定住でなければ入居できないのか。他町の方が、自分の町に住めるようになるまで入居するというのは可能か。(安藤正純)
- A 総務課 移住・定住を目的とするものの、他町の方であっても、当町に住民登録をしていただければ入居できます。

《住宅取得・リフォーム支援》

○【定住促進化対策新築住宅助成金】(土木費).....2億7000万円

交付額：助成対象経費の15%または300万円のいずれか低い額

【平成30年度実績(平成31年2月8日現在)】

申請受付件数 66件(新築29件、中古物件売買3件、リフォーム29件、中古リフォーム6件)

交付額：約1億1000万円

定例会の あらまし

平成31年3月定例会は3月5日から8日まで4日間の会期で開催しました。
平成31年度一般会計及び特別会計の当初予算をはじめ、平成30年度の補正予算、条例の制定及び一部改正、人事案件、工事請負契約案件など、計33件の議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。(P4～P6参照)
また、議員発委により、議員定数を現行の14名から10名に削減する条例案が提出され、賛成多数で可決しました。(P16参照)
一般質問では2議員が登壇し、今後直面する課題や町政運営のあり方について伺いました。(P7～P9参照)

《平成31年度の主な事業》

- 農地基盤整備対策事業費(農林水産業費).....14億9027万円
ため池の放射線対策工事など、農地基盤を整備するための工事を行います。
- 防災事務所経費(消防費).....6億7045万円
食料や飲料水を備蓄する倉庫(3か所)を建設します。
- 富岡町防火防犯パトロール事業費(消防費).....2億9875万円
帰還した町民が安心して暮らせるように、防火防犯パトロールを実施します。
- 歴史民俗資料館事業費(教育費).....9億676万円
東日本大震災の記録を後世に伝えるためにアーカイブ施設を建設します。

《夜ノ森駅を再生 東西自由通路を新設》

○【道路新設改良事業費】(土木費).....15億9739万円



- Q 夜ノ森駅東口にある大銀杏の木は残してもらえるのか。(高橋実)
- A 拠点整備課 本事業計画では、大銀杏の木は工事に影響を与えないと考えていますので、残すよう事業を進めます。
- Q 駅の西口広場にも仮設トイレを設置すべきは。(高橋実)
- A 拠点整備課 今後の事業計画の中で、仮設トイレ設置の可否についても判断していきたいと考えています。

■ため池除染対策工事

下記工事に関する請負契約について、可決しました。

(3月定例会 全会一致 原案可決)

	名称	工期	契約金額	契約相手方
①	毛戸ため池放射性物質対策工事	平成32年2月28日迄	1億1124万円	富岡町大字本岡字王塚332-3 (株)高葉建設
②	家老ため池放射性物質対策工事	平成32年3月19日迄	3億2924万8800円	富岡町大字本岡字王塚646-1 (株)丸東
③	椿屋第2・第3ため池放射性物質対策工事	平成32年3月19日迄	2億34万円	富岡町大字上手岡字杉内71 (有)光建設

● 工事完了
 ・北郷第2・第3 ・清水 ・宮の前
 ・椿屋第1 ・西沢

こんなことが決まりました。

議員発委

議員定数を4減に

議員定数を現行の14名から4名減の10名に変更する条例について可決しました。
 (3月定例会)
 賛成多数 原案可決
 ※P16 関連記事

町税などを減免

東日本大震災等の被害を受けた納税者等が納付すべき平成31年度の町民税などを減免する条例について、可決しました。
 (3月定例会)
 全会一致 原案可決

とみおか診療所の指定管理者を指定

富岡町立とみおか診療所の管理における指定管理者の指定について、可決しました。
 《指定管理者》
 医療法人社団邦論会
 代表理事 今村 諭
 (3月定例会)
 全会一致 原案可決

人事案件

副町長として適任である 高橋保明さん

富岡町副町長に高橋保明氏を選任する議案が提出され、適任であると決議しました。
 (3月定例会)
 全会一致 原案可決



〔略歴〕
 昭和48年生 45歳
 原子力等立地地域振興事務所、相双地方振興局など、当町と関わりの深い部署を歴任。
 平成31年3月まで県庁保健福祉部にて勤務
 【福島県 白河市出身】

高橋保明副町長 就任のごあいさつ

微力ではございますが、富岡町の復興、町政の発展のために誠心誠意、全力で尽くしてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

副町長を退任 高橋浩一さん

平成31年3月31日をもって、高橋浩一さんが副町長を退任されました。
 平成31年4月から 県庁総務部財務課にて勤務

人権擁護委員として適任である 渡邊はま子さん
 富岡町人権擁護委員の任期満了に伴い、渡邊はま子さんを再任する議案が提出され、適任であると決議しました。
 任期は平成31年7月1日からの3年間です。
 (3月定例会)
 全会一致 原案可決



条例制定

借上げ型町営住宅 条例を制定

町内へ移住、定住を希望する方への住宅提供を定めた条例について、可決しました。
 (3月定例会)
 賛成多数 原案可決
 ※P3 関連記事

指定管理者の指定

養護老人ホームの指定管理者を指定

富岡町養護老人ホームの管理における指定管理者の指定について、可決しました。
 《指定管理者》
 社会福祉法人伸生双葉会
 代表理事 大原 弘道
 (3月定例会)
 全会一致 原案可決

水産業共同施設の指定管理者を指定

富岡町水産業共同利用施設の管理における指定管理者の指定について、可決しました。
 《指定管理者》
 相馬双葉漁業協同組合
 代表組合長 立谷 寛治
 (3月定例会)
 全会一致 原案可決

【富岡駅前道路地盤改良工事】

曲田都市計画街路4号線地盤改良工事の請負契約について、可決しました。

(2月臨時会 全会一致 原案可決)

【取得契約の概要】

- 名称 曲田都市計画街路4号線地盤改良工事
- 工期 平成31年5月31日まで
- 契約金額 1億15万9200円
- 契約相手方 富岡町大字本岡字王塚332-3 (株)高葉建設



スバリ!! 町政を問う

一般会計 補正予算 事業完了・精査による減額 《14億3158万円を減額補正》

2議員が質問

3月定例会の一般質問に2議員が登場し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

事業の完了・精査により、14億3158万円の減額補正を行い、総額208億6424万円となりました。

補正のあった主な事業は下表のとおりです。

事業名	補正予算額
子育て世帯定住促進事業費	1600万円減
認定こども園施設整備事業費	4703万円減
鳥獣被害防止緊急対策事業費	4910万円減
応急仮設住宅維持管理費	2174万円減
道路新設改良事業費	5066万円減
がけ地近接等危険住宅移転事業費	1億3666万円減
その他(東日本大震災救助経費、環境衛生事業費など)	11億1039万円減

1 遠藤 一善 議員 8



- 更なる医療機関の拡充を
- 現況にあった用途地域の見直しを

2 早川 恒久 議員 9



- 駅前進出に興味を持つ取り組みは
- 駅前に温泉施設整備を

議員が切り込む!! 質疑応答

問 子育て世帯定住促進事業費の減額理由は。(高橋実)

答 健康福祉課長 当初予算では43世帯分を計上していましたが、今年度は16世帯の申請となる見込みですので減額します。

問 本制度の対象者に対して、町から申請を促す考えは。(高橋実)

答 健康福祉課長 本制度の対象世帯には、事前に制度説明の通知をしています。未申請の世帯については、再度ご案内します。

問 認定こども園施設整備事業費の減額理由は。(高橋実)

答 健康福祉課長 工事費及び備品購入費の精査による減額です。備品購入については、当初90名分の備品を用意する予定でしたが、50名分となったため減額するものです。

問 鳥獣被害防止緊急対策事業費の減額理由は。(安藤正純)

答 産業振興課長 鳥獣被害対策実施隊の活動、捕獲実績による減額です。また、県のモデル地区として、センサーカメラ

やGPSを利用した有害鳥獣の行動把握実証試験を行う予定でしたが、来年度に実施することになったため、減額するものです。

問 有害鳥獣は減っているのか。(安藤正純)

答 産業振興課長 昨年と比べると、有害鳥獣の数は減っていると感じています。

問 町内に居住している方に対して、有害鳥獣対策マニュアルを配布すべきでは。(宇佐神幸一)

答 産業振興課長 ご案内の仕方を整理して、早急に対応したいと考えます。

動画配信中!



※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。



早川 恒久 議員

問 駅前進出に興味を持つ取り組みは

答 駅前のコンセプトや各種取り組みを発信

問 町長 多くの人の流れが期待できる駅前地区の高いポテンシャルや分譲を予定している駅前保留地の諸条件、活用可能な補助金など、3つの点を総合的に発信していきたいと考えます。

問 富岡駅前を活性化させるために、富岡駅前にぎわいづくりアクションプランの策定を進めているが、飲食店やサービス業等の事業者が駅前に進出したいと興味を持たせるための取り組みは。

問 事業者が土地を購入して建物を建て、事業を行うことは、大きな資金が必要となりリスクもある。進出する事業者によつては、景観が損なわれる懸念もあるため、保留地を町が購入して、テナントとして貸し出せば、多くの事業者が駅前に集まってくるのではないかと。

答 町長 町が保留地を一括で購入して、テナントとして入っていたら、将来的に払い下げることも可能だと考えています。町として様々な点を勘案しながら進めていきたいと考えます。

答 企画課長 駅前の景観美化、つくり方を今後、しっかりと検討していきたいと考えます。



JR常磐線富岡駅前



JR常磐線富岡駅

問 更なる医療機関の拡充を

答 地域全体で医療不足を補完

問 平成30年11月発表の富岡町住民意向調査によると、医療機関(診療科)の充実が町内での今後の生活について必要だと回答した人が88.4%と非常に高い割合になっています。生活環境のさらなる改善に向け町はどのように考えているのか。

答 町長 当地域においては県や市町村を含め関係機関が連携し、医療体制の強化を図ることが肝要と考えており、当面は地域全体で不足する医療を補完することとし、診療科や診療日が一目でわかる近隣市町

村医療機関マップを町独自で作成し、配布しています。今後も医療体制の再構築については、国、県医師会など関係機関とともに継続して取り組んでいきます。

問 今後、医療に関する課題について町内居住者との懇談会等を開催し、現況を精査すべきでは。

答 健康福祉課長 町民からの意見の集約を行っていきま



活用が期待される富岡駅前保留地

問 町の支援策として医療機関へ町有地等を貸し出す事も必要では。

答 総務課長 空き地状態となった町有地の活用を検討いたします。



空き地が多く見られる商店街

問 都市計画法では都市の良好な環境と合理的な土地利用を基本理念として都市の発展と秩序ある整備を図るために、住居系、商業系、工業系の用途地域が細かく決められ、それぞれ地域において建築規制が決められています。今後の町の発展を考えると、用途地域の見直しを行うべきでは。

答 町長 町といたしましては、用途地域の設定による土地利用の誘導を全体的に検証する必要があり、町づくり及び土地利用の方針を検討し、良好な市街地の形成を図るため、用途地域の見直しを行ってまいりたいと考えております。

問 現況にあった用途地域の見直しを

答 良好な市街地形成を図る見直しを行う

問 駅前に温浴施設整備を

答 人が集まる事業者の誘致に取り組む

問 駅前に人を呼び寄せる目玉となるものが必要と考える。温浴施設を整備してはどうか。

問 温浴施設は若い方から高齢者まで幅広く利用して楽しめる施設であり、そういった施設があれば、ついでに飲食をしたることができる。現在、町内には娯楽施設がない状況であり、温浴施設があれば駅前にぎわいの一助となると考えるが。

答 町長 娯楽をどこに求めていくかは、これから町として考えていかなくてはならない課題です。今後、何が一番町民の生活向上につながるかを念頭に置きながら、検討していきたいと考えま

答 町長 飲食業や町内に不足している生活関連サービス業を中心に、民間事業者の駅前進出を促していく考えです。温浴施設の整備についても内容等を十分に検討しつつ、均衡ある町内及び広域の復興の観点にも配慮しながら、駅前に人が集まる事業者の誘致に取り組んでいきたいと考えます。

※常任委員会とは①

本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

＜ 町営住宅の保証人 ＞

Q 年金所得者は町営住宅の保証人になれるのか。

A 年金所得のみの方であっても、所得があれば保証人になることができます。

Q 富岡町町営住宅条例では、保証人の条件を「入居者と同程度以上の収入がある者」と定めているが。

A 入居者に保証人を求める理由として、家賃の保証という面もありますが、緊急連絡先を明らかにしてもらうというの大きな理由となっています。入居される方から個々の事情を丁寧にお聞きし、場合によっては同程度の収入がない方でも保証人と認めるような弾力的な運用をしていきたいと考えます。【総務課】

＜ 解体未実施家屋の固定資産税 ＞

Q 環境省に家屋の解体申請をしているにもかかわらず、平成30年12月末日までに解体されなかった家屋は固定資産税の課税対象となるのか。

A 家屋の解体がなされず、課税基準日(平成31年1月1日)時点で家屋が残っている場合は、固定資産税の課税対象となります。家屋の解体が確認できた時点で、納付していただいた固定資産税は還付します。【税務課】

＜ 産業団地の先行造成区画 ＞

Q 産業団地の町内事業者優先の先行造成区画が埋まらなかった場合は、町外事業者でも進出は可能か。

A 一定期間を設けて、町内事業者を優先的に誘致する予定ですが、万が一、埋まらなかった場合は、町外事業者の誘致についても検討します。【企画課】



【町内事業者優先ゾーン】

帰還困難区域内に事業所を有しており、早期再開が困難な事業者及び他市町村で仮施設による事業継続を余儀なくされている町内事業者を優先的に誘致するゾーン

＜ 仮設住宅の今後 ＞

Q 仮設住宅の今後の見通しは。

A 現時点で残っている仮設住宅は、郡山市は南一丁目と富田、いわき市は泉玉露と下高久の4か所です。このうち、下高久の仮設住宅は、入居者の移転先がほぼ決まっており、閉鎖の見通しが立っています。

Q 県は、平成31年度中に仮設住宅をすべて閉鎖する意向を示している。移転先が決まらない方にどのような対応をしていくのか。

A 町と県で情報を共有し、戸別訪問を実施しています。その中で、個々の事情を聞き取り、恒久的な住宅への移転を促しています。今後も積極的な戸別訪問を継続して実施していきたいと考えます。【住民課】

＜ 生活資金貸付金の未返還者対応 ＞

Q 震災直後に町民に貸し付けた生活資金貸付金の未返還者の数は。

A 平成31年2月8日現在で、22人です。

Q 震災から8年が経過しようとしている。何度催告しても返還しない町民には、通知した上で氏名を公表するなど、厳正な対応が必要では。

A 町の顧問弁護士に相談し、適切な対応をしていきたいと考えます。【出納室】

＜ 合宿センターの整備計画 ＞

Q 合宿センターの今後の整備計画は。

A 現在、合宿センターの被害調査を実施しており、来年度、改修の実施設計を行う予定です。実際に改修工事を行うのは、平成32年度になります。

【教育総務課】



- 議会事務局
- 出納室
- 教育総務課
- 健康福祉課
- 住民課
- 税務課
- 企画課
- 総務課
- 所管課

※常任委員会とは②

全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。
行政視察や事業の現地視察も実施します。

<< 蛇谷須地区下水道の実績 >>

- Q** 現在、蛇谷須地区特環下水道を使用しているのは何軒か。
- A** 常時使用している方が4軒ほどです。その他、数軒が一時帰宅した際に使用しているという状況です。
- Q** 使用する方が少ないのであれば、今後の維持管理費を考えれば、代替を用意して下水道の使用を停止することも考えては。
- A** 維持管理費がかかりすぎていることは認識していますので、今後一時的に建設費用がかかったとしても、公共下水道に接続するといった対策も検討していきたいと考えます。
【復旧課】

<< 業務の統廃合 >>

- Q** 自家消費作物の放射能測定や公益での一時立ち入り受付など、件数が少ない業務は本庁に統廃合するべきでは。
- A** 関係する課等と協議し、適切な事務遂行に努めます。
【いわき支所】

<< 住民座談会の開催 >>

- Q** 大玉地区で開催した住民座談会で町民から出された意見は。
- A** 医療費免除の件や確定申告の件など、様々な意見が出されました。
- Q** 大玉地区だけでなく、他の地区でも座談会を企画しては。
- A** 今回の座談会は、大玉村に居住している町民の自治会からの要望で開催しました。他の地区でも自治会からの要望があれば、日程を調整し、積極的に座談会を開催したいと考えています。
【郡山支所】



<< 家屋解体の進捗 >>

- Q** 家屋解体の遅れは固定資産税の課税や生活再建支援金の支給と大きくかかわってくる。解体申請があった家屋は、平成31年12月末までに全て解体できるのか。
- A** 平成31年2月8日現在、避難指示解除区域で家屋解体の申請があったもののうち、489件が解体されずに残っている状態です。環境省に12月までに解体を終了させるよう強く要望します。
【復興推進課】

<< 観光協会の再開 >>

- Q** 観光協会の再開に向けて、現在の会員数は。
- A** 会員数は約110名です。その中で実際に活動していただける方は60名弱だと想定しています。今後、既存の会員に会員継続の意思を確認しながら、新たに事業を開始した事業者にも声をかけ、観光協会の本格再開を目指していきたいと考えています。
【産業振興課】

<< 避難訓練の経路 >>

- Q** 平成31年1月26日に実施した住民避難訓練の経路は。
- A** 富岡インターチェンジから常磐道、磐越道を通り、郡山市に避難しました。
- Q** 避難訓練は風向き等を考慮して実施すべきであり、万が一の避難の際には間違いのない経路の選定をしてほしいが。
- A** 今回の避難訓練では高速道路を使用しましたが、県との協議の中で避難経路を7路線設定しています。今後、万が一の避難の際には、風向き等を十分考慮した上で、避難経路を決定したいと考えます。
【生活環境課】



- 〇 郡山支所
- 〇 いわき支所
- 〇 生活環境課
- 〇 産業振興課
- 〇 農業委員会
- 〇 拠点整備課
- 〇 復興推進課
- 〇 復旧課
- 〇 所管課

東京電力廃炉資料館を視察

平成31年2月6日、原子力等特別委員会で、東京電力廃炉資料館を視察しました。

議員からは、原子力事故の事実と廃炉事業の現状を広く伝えるために、積極的に視察を受け入れ、福島第一原子力発電所のライブカメラ等『リアルタイム映像の公開対応』や『事故の反省と教訓を正確に発信』することなどを要望しました。



【所在地】 富岡町大字小浜字中央378
(旧エネルギー館)
【開館情報】 9:30~16:30
休館日: 毎月第3日曜日・年末年始
入館料: 無料

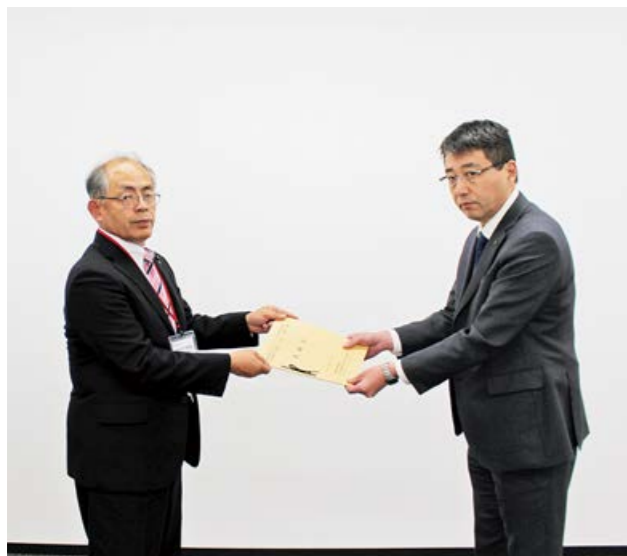


【主なコンテンツ】

- 記憶と記録・反省と教訓
原子力事故を振り返り、反省と教訓を伝える
- 廃炉現場の姿
廃炉事業の全容と最新の現場状況を伝える

情報共有の徹底を求める

平成31年3月27日、原子力等特別委員会 宇佐神幸一委員長と堀本典明副委員長は、東京電力本社で渡辺 沖 原子力安全・統括部長に抗議文を手交しました。



東京電力本社で抗議文を手交

【抗議文手交の理由】

東京電力本社が、原子力規制庁より、保安規定違反の疑いがあるとの指摘を受けたことは、廃炉という重要な責務に取り組む現場側とそれを指揮監督する本社側との間に大きな意識の差が生じていると感じる。よって、本特別委員会として、東京電力本社に対し、情報共有方法の改善とグループ一丸となって廃炉作業に取り組む姿勢を示すことを求めて、抗議文を手交した。

【東京電力の回答】

現場と本社の更なる連携強化に取り組み、業務の品質をしっかりと確保していきたい。福島への思いを忘れず、グループ一丸となって再発防止に努める。

要望① 取り出したデブリの保管、処分計画を示せ

原子炉格納容器内のデブリを取り出した場合の保管方法及び処分方法は。



安藤正純議員

取り出したデブリの保管方法及び処分方法は、まだ決まっていない状態です。

先を見据えた対策を取る必要がある。デブリが取り出されるまでには具体的な保管方法は決まるのか。

廃炉作業の最終地点が見えないまま、研究や検討を繰り返しながら、廃炉作業を進めているのが現状です。デブリに関しては、安全な保管方法が確立した後で取り出し作業を実施する計画です。



東京電力(株)

要望② 片づけや除草のボランティアを継続してほしい

平成31年度以降も片づけや除草のボランティアを継続して実施してほしいが。



東京電力(株)

平成31年度についても屋内の片づけや敷地内の除草作業を継続して行いたいと考えています。申し込みが大変多いので、一時帰宅した際に不便のないように家屋への入り道や墓地の除草などを優先的に実施したいと考えています。また、帰還困難区域の片づけもこれまでどおりに継続して行います。



遠藤一善議員

要望③ 原発等の視察受け入れを積極的に

原発事故を風化させないために、また風評被害を払拭するために、福島第一原発周辺や廃炉資料館、近隣町村などを巡るような視察を計画する考えは。



早川恒久議員

福島第一原発は年間2万人を目標に視察受け入れを行っており、広く廃炉の状況を知ってもらいたいと考えています。また、風評被害を払拭するために、首都圏の方を呼び込むしくみを計画していきたいと考えています。



東京電力(株)

先行解除の範囲を協議

平成31年2月6日、富岡町役場 全員協議会室で全員協議会を開催し、特定復興再生拠点区域における先行解除の範囲を議論しました。

【先行解除範囲(案)】

- JR常磐線鉄道施設区域
- 夜ノ森駅へのアクセス道路
- ※右図 青色路線



夜ノ森駅前の現状



通行路線は道幅が狭い



問 道路の改修は。
(堀本典明)

答 企画課長
今後、先行解除範囲を決定していく中で、復旧課と協議しながら、

問 道路の改修は。
(堀本典明)

答 企画課長
一本東側の道路を通行ルートに設定すると、駅と道路の間の民有地を大きくバリケードで囲わなくてはならないため、本道路が適切であると判断しました。
なお、本道路を通行する際の注意喚起には努めていきたいと考えます。

問 提案のあった駅前
の道路は道幅が狭い
では。(堀本典明)

答 企画課長
必要な改修は実施して
いきたいと考えます。



問 大型車に交通規制
をかけるのか。(高橋実)

答 企画課長
現在のところ、大型車に交通規制をかける
考えはありませんが、
現況をよく確認して検
討していきたいと考えま
す。

問 歩行者に対する安
全対策も必要では。
(早川恒久)

答 企画課長
先行解除範囲が決定
されるまでに、しっかり
とした安全対策を講じ
たいと考えます。

問 大型車、歩行者等
の安全を考えれば、桜
通りを通行路線として
は。(渡辺三男)

答 企画課長補佐
町民の心よりどこ
ろである桜通りに、多
くのバリケードを設置
することは抵抗がある
との意見もありました。

問 大型車、歩行者等
の安全を考えれば、桜
通りを通行路線として
は。(渡辺三男)

答 企画課長補佐
町民の心よりどこ
ろである桜通りに、多
くのバリケードを設置
することは抵抗がある
との意見もありました。

問 歩行者に対する安
全対策も必要では。
(早川恒久)

答 企画課長
先行解除範囲が決定
されるまでに、しっかり
とした安全対策を講じ
たいと考えます。

議員定数14名から10名に

平成31年2月6日、議員定数等に関する特別委員会を開催し、平成32年3月に執り行われる町議会議員選挙の定数について議論しました。委員会では、各委員から下記のとおり様々な意見が出され、採決の結果、定数4名減の10名とすることに決しました。

3月定例会で黒澤英男委員長が委員会報告を行い、同日富岡町議会議員定数条例の一部を改正する条例案を提出しました。採決の結果、賛成多数で可決しました。

(賛成11. 反対1. 欠席1)

定数4減

- 渡辺 英博 ・ 高野 匠美 ・ 堀本 典明 ・ 早川 恒久 ・ 遠藤 一善
安藤 正純 ・ 宇佐神幸一 ・ 高野 泰 ・ 黒澤 英男 ・ 塚野 芳美
(議席番号順)

【主な意見】

- 現在、町内には800人ほどの町民が帰還しているが、今後、大幅な人口の増加を見込むのは難しい状況になっている。そのような状況を鑑みれば、定数4名減の10名とすべきだと考える。
- 選挙が実施されるたびに段階的に議員定数を減らすよりも、将来的な人口予測をもとに適正な議員定数にするべきだと考えるので、定数4名減の10名とすることが望ましい。

【双葉郡内他町村の議員定数】

※平成31年3月31日現在

	議員定数
浪江町	16
大熊町	12
楢葉町	11
広野町	10
双葉町	8
川内村	8
葛尾村	8

定数2減

渡辺 高一

【意見】

- 将来的な人口予測が難しい中で定数4減は厳しいと考えるので、2減の12名が望ましい。

現状維持

渡辺 正道 ・ 高橋 実 ・ 渡辺 三男

【主な意見】

- 現在の町内居住者は少なくとも、当町に住居登録している方が約13,000人いる。この方たちの意見を聞き、町政に反映させるためには、現状の議員数は必要であると考えます。
- 富岡町に戻ってきて生活したいという町民の声も聞かれるようになってきた。もう少し、状況を見ながら判断してもよいと考えるので、現段階では現状維持が望ましい。

復興へのあゆみ

様々なイベント等で、町民『富岡町から遠く離れた土地で長く避難生活を送っていると、皆様の先が見えない不安を富岡町の現状を

の方から多く聞かれるのは富岡町が今どうなっているのかわからない』という声です。少しでも解消できるように、お伝えします。

町内スポーツ施設の整備

①ふれあいドームの改修工事完了



H31.3.15 に改修工事が完了し、H31.3.31 町民ゲートボール大会が開催されました。
※フットサルでの利用も可能となりました。



②総合スポーツセンターのトレーニング施設も一新

お問い合わせ

○所在地：富岡町小浜 481
○連絡先：0240-22-2690
公益社団法人
富岡町さくら文化・スポーツ振興公社
(通称：富岡町さくらスポーツ)



子育て環境の整備

⑤町立の認定こども園「にこにここども園」が開園



H31.4.3
開園式が開催され、子どもたちや先生の紹介、一緒に歌を歌ったり、屋外の遊具で遊ぶ姿が見られました。

③ホテル蓬人館が5月6日グランド OPEN

○所在地：富岡町小浜 44 番地 2
○部屋数：195 室
○連絡先：0240-23-7728



宿泊・移動 手段の充実



④カーシェアリング「はまモビ」OPEN

常磐線不通区間の片道利用OK！
○連絡先：0120-23-1723
NISSAN e-シェアモビコールセンター



⑥わんわんレンタカー OPEN

JR 常磐線富岡駅前のレンタカーショップ
○所在地：富岡町大字仏浜字釜田 122-6
○連絡先：0240-23-7105
株式会社ポート



ちよととと

みなさまの声

富岡町の漁業の現状について

私は、内水面漁業を主とする「富岡川漁業協同組合」に所属しておりますので、これらについてお話しさせていただきます。

富岡川は県内河川でも小規模の河川であり、平成23年の東日本大震災以前でも、活動規模は小さいものでありました。それだけに、地元へ愛される「ふるさとの河川」として他の河川に負けないよう多くの魚種を放流・育成してきました。震災以降は、活動が全面的に禁止になり現在も続いています。組合としては、魚種を残すためにも最少限の放流等は行っていますが、経営的には非常に苦しい状況です。

今後、富岡町の漁業振興について…

残念ながら、現在は組合活動全てを再開できる状況(遊魚券を販売し、人々に釣りを楽しんでいただく)ではありません。

現在組合ではいつでも事業が再開できるよう、放流魚種の放射能検査を定期的に行うとともに、参加できる組合員の確保に努めています。

また、今後は、従来富岡川下流で行われていた「サケ捕獲と鮭稚魚ふ化・放流事業」を合わせて行うよう計画しておりますので、現在は、築場・ふ化場施設復旧に全力を尽くしています。

いずれにしても、富岡川にアユやイワナ・ヤマメが銀鱗を躍らせ、秋には「サケ」が産卵のため大きな魚体を現すことが、富岡町再生の一助になることを信じて活動しています。



猪狩弘道 富岡川漁業協同組合組合長
富岡町出身

【略歴】

昭和36年 福島県立小高農工高等学校卒業
昭和36年 富岡町消防団入団
昭和59年 南双葉農業協同組合理事
昭和61年 富岡川漁業協同組合組合長就任
平成6年 富岡町王塚行政区区長就任
平成22年 福島県内水面漁業協同組合連合会理事
平成30年 富岡町老人クラブ会長

議会を傍聴しませんか？

- 6月定例会は、12日(水)～13日(木)の会期で開催する予定です。
- 所定の用紙に、住所・氏名・性別・年齢(○歳代)を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
- 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)

委員 安藤正純
委員 遠藤一善
委員 高野匠美
委員 渡辺正道
副委員長 渡辺高一
委員長 堀本典明

議会報編集特別委員会

議長 塚野芳美
発行責任者

2019桜まつりが、4月6日・7日の2日間にわたり開催され、帰還困難区域においては、限定的ではございますが、9年ぶりに花見を実施することが出来ました。約900名もの方々が観桜バスにより、満開の桜のトンネルを楽しみ、震災前の夜の森の桜並木に思いを馳せていたように感じられました。

メイン会場であった富岡第二中学校においては、町民カラオケ大会やよさこい踊り、玉ノ井部屋のちゃんこ鍋など数多くの出店が並び、2日間で約5500名の方が来場され、桜と共に『ふるさと富岡』を楽しんでいらつしゃいました。

表紙は満開の桜と舞い踊るよさこいのパフォーマンズです。来年も満開の桜の下で皆様とお会い出来ることを楽しみにしております。

(渡辺 高一)

編集後記

この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。



富岡町議会公式
ホームページ



富岡町議会

で 検索

